



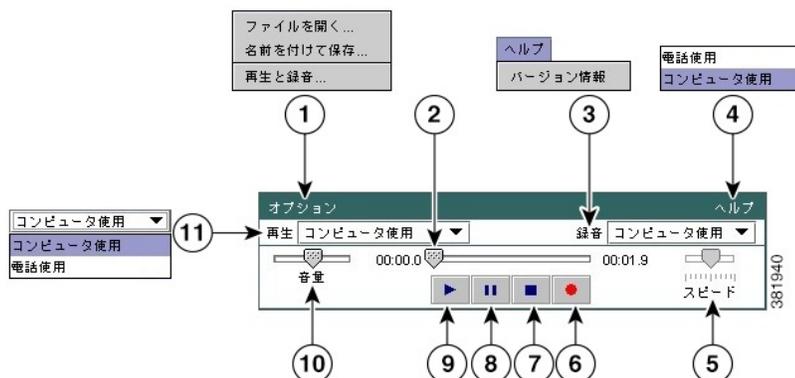
Messaging Assistant Web ツールでの Media Master の操作

- [Media Master について, 1 ページ](#)
- [録音でのサウンドファイルの使用, 2 ページ](#)
- [再生デバイスと録音デバイスの変更, 2 ページ](#)
- [Media Master のキーボードショートカット, 3 ページ](#)

Media Master について

Media Master は Messaging Assistant Web ツールのさまざまなページに表示されます。各コントロールをクリックすると、電話またはコンピュータのマイクとスピーカーを使用してメッセージを録音したり、録音メッセージを再生したりできます。

図 1 : Messaging Assistant の Media Master



1	[オプション] メニュー	7	停止
2	録音/再生の経過表示	8	一時停止

3	録音リスト	9	再生
4	ヘルプ (Media Master バージョン情報)	10	音量コントロール
5	再生速度コントロール	11	再生リスト
6	録音		

録音でのサウンドファイルの使用

Media Master の [オプション] メニューを使用すると、録音で別のサウンド (WAV) ファイルを使用できます ([Media Master について](#), (1 ページ) の図の 1 を参照してください)。

使用できるオプションは次のとおりです。

オプション	説明
[ファイルを開く]	コンピュータに保存されている WAV ファイルを開き、選択された再生デバイスで再生します。
[名前を付けて保存]	録音を WAV ファイルとして指定した場所に保存します。

再生デバイスと録音デバイスの変更

Messaging Assistant Web ツールでは、録音と再生に使用するデバイスを選択できます。

[再生デバイス]	<ul style="list-style-type: none"> 電話：Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカーフォンのスピーカーを通じて音声を聞き取ります。 コンピュータのスピーカー (使用可能な場合)。
[録音デバイス]	<ul style="list-style-type: none"> 電話：Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカーフォンのマイクを使用して音声を録音します。 コンピュータのマイク (使用可能な場合)。



ヒント

録音の音質が最もよくなるのは、電話機を使用する場合です。

Media Master に対するアップデートは、コンピュータごとにユーザ単位で保存されます。また、別のコンピュータ (自宅のコンピュータなど) も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

手順

- ステップ 1** Messaging Assistant で、[設定] メニューの [個人] を選択します。
- ステップ 2** [設定] ページの [録音名] フィールドで、[再生/録音] を選択して Media Master を表示します（該当する場合）。
- ステップ 3** Media Master の [オプション] メニューで、[再生と録音] を選択します。
- ステップ 4** 適切なデバイスを設定します。

オプション	説明
[再生デバイス]	電話またはコンピュータを選択します。
[録音デバイス]	電話またはコンピュータを選択します。

- ステップ 5** 再生デバイスまたは録音デバイスとして電話を使用する場合は、[アクティブな電話番号] セクションでプライマリ内線電話番号を選択するか、別の電話番号を入力します。この番号は、電話を使用して再生または録音を行うときに Connection がユーザにコールを発信する番号になります。アクティブな電話番号を設定すると、Media Master の再生リストと録音リスト（[Media Master について](#)、[\(1 ページ\)](#) の図の 11 と 3）でデバイスを選択できるようになります。これらのリストを使用するとデバイスを簡単に変更できます。この選択は再度変更するまで Media Master を含むすべての Messaging Assistant ページで保存されます。
- ステップ 6** [OK] を選択します。

Media Master のキーボードショートカット

Alt+O キー：オプションメニューが開きます。

